

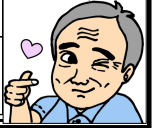
国語学習プリント 古典入門

date : 年 月 日

学習内容：古典の基礎を学ぶ

年 組 番

氏名



古典を学習する上で、留意すること

① 「仮名づかい」について

昔と今とでは、仮名の使い方が違うことがあります。

《はじめに》

i 濁点・半濁点のつく仮名はなかった。

濁音・半濁音(濁点「゛」や半濁点「゜」)を書き表す方法が昔はなかったため。

※教P154 「いろは歌」を見るとわかると思います。

※教科書では理解を深めるためにふつてある場合があります。

ii 拗音(やゆよ)や促音(っ)をあらわす仮名もなかった。

iii 句読点(。や、)もなかった。

※教科書では理解を深めるためにふつてあります。

iv 現代では使われなくなった仮名があった。

「ゐ(ヰ)」「ゑ(ヱ)」など

◎「歴史的仮名遣い」とは

仮名は太平洋戦争終結後、現代のようにまとめられました。それ以前は、古典を含め昔の仮名のつかいかたをしていました。いわゆる旧仮名遣い。これを歴史的仮名遣いといいます。

これに対して、現在の仮名のつかいかたを現代仮名遣いといいます。

歴史的仮名遣い ≠ 文語

※あくまで仮名遣いのことをいうもので、「文語」「口語」とは違う次元のものです。歴史的仮名遣いで表現されていても「口語文」のこともあるということです。

② 古典語(文語)には、

ア 古典だけに使われる言葉(現代では使われなくなった言葉)イ 形が同じかほぼ同じだが、意味が変わってしまったものウ 形が同じかほぼ同じで、現代でも同じ意味で使われるものがある。

アの例

いと 訳「たいそうとても」
わろし 訳「よくない、見劣りがする、みつともない」
つきづきし 訳「似つかわしい」
ことさめて 訳「興ざめして」

イの例

かなし 現「泣きたくなるほどつらい」
古「いとしい、かわいい」
をかし 現「笑えるほどおもしろい」
古「趣がある、みごとだ、すばらしい」
あはれ 現「みすばらしい、気の毒だ」
古「しみじみとした情趣」
うつくし 現「きれいだ とどのつている」
古「かわいらしい」

問題 次の古典語を「現代仮名遣い」に直して書きなさい。

- | | | | |
|----------|--------|-----------|--------|
| 1 あど | 2 こゑ | 3 をどこ | 4 ぢごく |
| 5 みづ | 6 おはす | 7 言ふ | 8 こひ |
| 9 うへ | 10 にほひ | 11 まうす | 12 かうし |
| 13 からうじて | 14 やうす | 15 じやうげ | |
| 16 けふ | 17 てふ | 18 げせう | 19 くわし |
| 20 うつくしう | | 21 やむごとなし | |

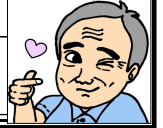
国語学習プリント 古典入門

date : 年 月 日

学習内容：応用編

年 組 番

氏名



③【係り結び】 古典特有の決まり（法則）について。

ある特定の語（助詞）が文中にあると、文末（文末）が「終止形」では終わらない法則を「係り結び」といいます。

（係助詞）
特定の助詞

文末

なむ 連体形
ぞむ 連体形
かや 連体形
こそ 已然形

已然形：已然とはすでにそう
なっているの意。
連体形：体言（名詞）につながる形

例 花ぞ昔の香にほひける

※係助詞自体に意味はありませんが、強意（強調）を表わすとされています。

④覚えておくと便利な「ば」の用法

古典では「ば」という助詞のすぐ前の活用語の形によって訳し方が変わってきます。

▼已然形 + ば …… 確定条件
▼未然形 + ば …… 仮定条件

・小町は歌がうまいので
〔小町は歌がうまいので〕 確定条件

・振り放け見れば
〔振り放け見れば〕 確定条件

・よき歌を詠まむと思はば
〔よき歌を詠まむと思はば〕 仮定条件

文語助動詞活用表

Table with columns for 比況, 希望, 使役, 受身, 断定, 伝聞, 打消, 推量, 打消, 推量・意志, 完了, 過去, 助動詞, 未然形, 連用形, 終止形, 連体形, 已然形, 命令形, 意味, 接続. Rows include ごとし, たし, まほし, しむ, さす, す, らる, る, たり, なり, なり, まじ, じ, り, めり, まし, らし, べし, けむ, らむ, むす, む, り, たり, ぬ, つ, けり, き.

※ 活用形内の○は、その活用形が存在しないことを示す

国語学習プリント

古典

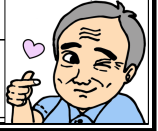
date : 年 月 日

学習内容：昔話と古典 & 物語の始まり

年 組 番

川柳—「竹取物語」

氏名



昔話と古典—箱に入った桃太郎—川柳

まだ桃は流れて来ぬに子は寝入り

真白になつて浦島くやしがり

その後はこはごは翁竹を割り

物語の始まり—竹取物語—

※この冒頭の部分は暗唱課題

① 今は昔、竹取の翁おきなといふものありけり。②

野山にまじりて竹を取りつつ、よろづよろづのことに使ひけり。③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

名をば、さぬきのみやつことなむいひける。⑤⑥⑦⑧⑨⑩

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。⑤⑥⑦⑧⑨⑩

⑥ あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。⑦

それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうつてゐたり。⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①今は昔 「今ではもう昔のことであるが」と訳されることが多い。その後の物語の書き出しが「今は昔」と始まることから、慣用語となっていた。現代の昔話の「むかしむかし」にあたる。

②けり 過去(伝聞過去)を表わす文語助動詞。(〜た。〜たということだ。)

③まじりて「分け入って」と訳されることがほとんど。(先生には別の意あり)

④よろづ いろいろな たくさんの

⑤なむ 係助詞(「係り結び」を起こす助詞)

⑥あやしがりて 不思議に思つて

⑦たり 完了した。・存続している。〜である。(を表わす文語助動詞)

⑧見れば 見ると

見れば 已然形 + 「ば」 || 確定条件 (見ると、見たので)

参考文語動詞「見る」の活用

基本形	見る	未然形	み	連用形	み	終止形	みる	連体形	みる	已然形	みれ	命令形	みよ
-----	----	-----	---	-----	---	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

⑨いと たいそう とても

⑩うつくしう かわいらしい様子で ⑪あたり 座っていた

参考 係り結び

係助詞 なむ …… 文末 連体形

係り結びとは、文中(句中)に特定の語句(係助詞「なむ・そ・こそ」など)があると、文末(文末)の語が終止形では終らなくなる古典特有の法則です。

参考 文語助動詞

基本形	たり	未然形	た	連用形	たり	終止形	たり	連体形	たる	已然形	たれ	命令形	たれ	意味
基本形	けり	未然形	け	連用形	けり	終止形	けり	連体形	ける	已然形	けれ	命令形	〇	伝聞過去 (…タ、…タソウナ)
基本形	たり	未然形	た	連用形	たり	終止形	たり	連体形	たる	已然形	たれ	命令形	たれ	伝聞過去 (…タ、…タソウナ)

竹取物語 『源氏物語』に「物語の出で来はじめの祖なる竹取の翁と紹介されている九世紀末から十世紀初頭にかけて成立したと思われる作者未詳の我が国最古の作り物語。